

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 旭川荘 旭川荘真庭地域センターさくら		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門スタッフ(PT,OT)による専門的な支援を行っている。	・障害の特性(特に身体面)を踏まえたニーズに応じ、専門スタッフ(PT,OT)が訪問支援に入り専門的な助言をすることで、利用児が地域の訪問先施設でより過ごしやすくなるような支援の提供に取り組んでいる。	・本児、ご家族、関係機関と連携を取り、専門的な助言のみならず、様々なニーズに対して応じることができるようになっています。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご家族、訪問先、事業所間での連携や情報共有がより必要。	・連絡帳などもなく、口頭での共有がほとんどで、一貫した連携や情報共有ができていない。	・一貫した連携や情報共有ができるように連絡帳などを作り、記録として残るような工夫をして行くことが必要。
2	・家族会や保護者の会等がなく、保護者同士の交流の機会がない。	・事業所としては家族会は設けているが、通所を利用している方対象で訪問支援を利用している方対象としては家族会への参加は促していない。そのため、家族間での交流の機会が設けることができていない。	・訪問支援を利用している方にとっては他の利用している人がいるかどうか不明である。また、交流も少なく、困りごとに対して各ご家庭で抱えてしまっている可能性も考えられるので訪問支援を利用している方対象に家族間の交流や悩み事を話せるような場を設けることができるように工夫していきたい。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 旭川荘 旭川荘真庭地域センターさくら

公表日 令和8年3月2日

利用児童数

令和8年3月2日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					相談支援室を設けていますので、プライバシーに配慮することができます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					ご家族のニーズに合わせて頻度や時間について設定させていただいています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					保育士の他に、看護師、理学療法士、作業療法士が在籍しています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					状況やニーズに合わせて、専門性のある支援を受けることができるように体制を整えています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					児童発達支援管理者のみではなく、担当する保育士、リハビリスタッフと共に検討しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					訪問先施設に密に連絡を取り、意向を聞き、計画に組み込んでいます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					「直接支援」と「間接支援」について具体的な内容を踏まえて職員間で共有しながら支援内容を設定しています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					支援計画について適宜、ミーティングを行いそれに合った支援ができるようにしています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					支援に入る前に現場へ行き、どのような訪問先か把握した上で支援に入ることを心がけています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					質問や疑問に感じる事があれば丁寧に応じることができるような体制を整えています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					ご家族向けの研修等があり、案内しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					電話やメッセージツールを利用して気軽に状況や課題について共通理解ができるようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					年に2回ほど懇談を設けおり、また、困りごとがあればその都度対応しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					ご家族やこどもが安心して支援を受けることができるように寄り添うことを心がけています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					苦情相談受付窓口を設置しています。また、周知しやすいように事業所の玄関などに設置してあることが分かるように張り紙をしています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					電話連絡などでの相談に応じ、必要な上限等ができるようにしています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					直後には支援時間の関係もあり行うことができていないが、後日電話連絡などで行うようになっています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					訪問実施後、職員が直接、家族に支援内容を伝えていきます。また、訪問先側からも伝えてもらっている旨の報告も受けています。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					紙媒体の広報誌の発行はしているが、SNSでの発信はありません。SNSでの発信やHPの更新などを行い、発信力を強化していきます。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					年に1回広報誌やSNSなどへの掲載のアンケートを取り、個人情報の取り扱いには十分に気を付けています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					安全計画は立てていますが、ご家族等への周知はできていないため、HPや広報誌で公表していきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					こどもが安心して支援を受けることができるように配慮しながらしえんをしていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					今後もニーズに合わせた支援を行い、地域社会への参加がより良いものになるよう支援をしていきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年3月2日

社会福祉法人 旭川荘 旭川荘真庭地域センターさくら

利用児童数

令和8年3月2日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			日頃の保育の様子を見ながら、その場に応じた助言をしてくれたのでよくわかりました。	訪問先からの本児の情報も踏まえ、連携を取っていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			専門的な知識で細かく教えてもらい、とても分かりやすかったです。	ニーズに合わせて専門スタッフが支援に入ることができるようにします。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1			一つ一つとても丁寧に答えてくれたので、一緒に考えていくことができました。	丁寧な対応を心掛けていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			保育の中で不安に思っていることやわからないことを解決することができました。	支援のときのみではなく、困りごとがあれば電話連絡などで対応できるようにしていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			とても満足しています。	今後も、連携を取りながらニーズに合わせた支援をしていきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
保育の中で疑問に思っていたことに対して、一つ一つ丁寧に対応してもらったので、とても分かりやすく、今後の保育に活かしていくことができると感じています。ありがとうございました。今後も引き続き訪問支援をしていただき、その子に合わせた対応と一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。					今後も、利用児さんに寄り添い、ご家族、訪問先施設との連携を取りながら地域社会への参加がより良いものとなるように支援していきます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人旭川荘 旭川荘真庭地域センターさくら		公表日 令和8年3月25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		児童のニーズに応じて適切なものを使用できるように工夫している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		保育士の他に理学療法士、作業療法士のリハビリスタッフの配置をしている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1		各々では行っているが、関係職員全体での検討は不十分。職員が広く参画できるように会議の内容を検討する必要がある。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	評価表集計後、職員間でミーティングを行い、内容によっては業務改善を行っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		月に1回よりよい支援や業務遂行がしやすいように会議を行っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		行っていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1		研修の機会が多いが、児童分野に関する研修はなかなか参加することができていない。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		児童発達支援管理者のみではなく、担当する保育士、リハビリスタッフと共に検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先施設に密に連絡を取り、意向を聞き、計画に組み込んでいる。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画について適宜、ミーティングを行いそれに合った支援ができるようにしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	インフォーマルなアセスメントを十分に行い、児童の状況を把握し、支援につなげている。	標準化されたフォーマルなツールを用いることができていない。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		「直接支援」と「間接支援」について具体的な内容を踏まえて職員間で共有しながら支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		月に1回の会議や適宜ミーティングを行い、職員間で共有しやすいように工夫している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1		勤務上難しいこともある。そのため、記録ツールを使用し、適宜、確認できるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1		勤務上難しいことがある。そのため、記録ツールを使用し、適宜、確認できるようにしていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		支援に入る前に現場へ行き、どのような訪問先か把握している。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		ツールを使用しての記録を行っている。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		年に2回のモニタリングを行い、適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		場合によっては児童発達支援管理者や保育士だけでなく、専門スタッフ(PT,OT)が参画する場合がある。	
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			意識して連携が取れるように、体制を整えているが、医療機関との連携は難しさもある為、相談支援や地域の保健を通じて連携できるように体制を整えていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2		現在対象児はいないが、連携が取れるように配慮していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		2		保育所等訪問支援に関する研修は受けることができていないため、積極的に受けることができるように情報を集めていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			真庭市の子ども子育て支援部会に参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			電話連絡などでの状況確認は密に行っている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		施設としては家族会があるが、訪問の方への家族会への参加は行っていない。 また、ペアレント・トレーニングについては行っていない。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			事前に保育所等訪問支援について丁寧に説明を行う場を設けている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			支援をしている様子を写真などで見てもらいながら支援計画を説明し、同意を得ている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			気軽に相談に応じることができるようにメッセージングアプリを使用しているやり取りを行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		施設としては家族会を設けているが、訪問支援を利用している方に関しては家族会への参加を促していない。 センター主催のおまつり等のあることを伝え、保護者同士の関わりの機会を設けるような支援をしていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			苦情相談窓口を設置し、迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			紙媒体の広報誌の発行はしているが、SNSでの発信はない。SNSでの発信やHPの更新などを行い、発信力を強化していく必要がある。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			年に1回広報誌やSNSなどへの掲載のアンケートを取り、個人情報の取扱いには十分に気を付けている。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			電話連絡などでの相談に応じることができるようにしている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	1		直後には支援時間の関係もあり行うことができていないが、後日電話連絡などで行うようにしている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	1		訪問実施後、職員が直接、家族に支援内容を伝えている。また、訪問先側からも伝えてもらっている旨の報告も受けている。 連絡帳のようなものを作り、その日に家族に支援内容が伝わり、共有できるようにしていく。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		支援の記録などで写真などを撮るときには訪問先に確認してから記録するようにしている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		相談内容によってどの専門スタッフからの助言が適切か判断し、行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		事業所としては各マニュアルに対する訓練の実施を必ず行っている。	マニュアルの策定はできているが、家族等への周知はできていないため、HPや広報誌で公表していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画の作成及び研修、訓練を行っている。	行っているが、家族への周知ができていないため広報誌やHPでの公表などで周知を図っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットの回覧や月に1回のサービス向上委員会を行い、再発防止に向けて検討を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止委員会を設置し、年に1回の研修を行い、虐待防止に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		現在、対象児は不在だが、場合によってはしっかりと対応した上で計画に記載するようにしている。	